

(仮称)つくば市陸上競技場 整備基本構想に関する

市民説明会

令和3年6月
市民部スポーツ施設整備室



1 基本構想策定の背景と目的

(1) 現状

- ・小中学生が公式記録の取れる市営の陸上競技場がない。
- ・筑波大学や他の自治体の施設を借用している。

(2) 市民ニーズ

- ・市内小中学校、PTA、スポーツ団体からの要望
- ・施設整備に関するアンケート結果(H28)
体育館 24.7%、ウォーキング・ランニングコース 21.4%
多目的広場 20.9%、陸上競技場 17.3%

1 基本構想策定の背景と目的

(3) これまでの経緯

H11年5月	陸上競技場を含む総合運動公園の早期実現について、市体育協会、校長会、小・中学校体育連盟からの請願
H17年～	市PTA連絡協議会、区会連合会や市議会議員等からの要望
H27年9月	総合運動公園基本計画が、住民投票の結果を受け白紙撤回

H29年11月 市PTA連絡協議会から陸上競技場の整備に関する要望

陸上競技場について

H31年2月	陸上競技場整備に関する学校跡地調査 ・市内11の学校跡地を対象に優位性の比較検討 ・上郷高校跡地が総合的に高い評価
R1年7月	上郷高校跡地利活用に関する地元説明会

1 基本構想策定の背景と目的

(4) 市における位置づけ

- ・スポーツ推進計画において公式記録のとれる陸上競技場の整備検討を重点事項としている。
- ・市長公約事業のロードマップに位置付けている。
公約No.124「公式記録の取れる陸上競技場の整備」

(5) つくば市における陸上競技場整備の必要性

- ・市内に公式記録がとれる陸上競技場がない。
- ・他自治体の施設を借用している。
- ・学校やスポーツ団体からの要望も強い



陸上競技場の整備が必要

併せて、ウォーキングコースや多目的広場などについても検討すべきである。

1 基本構想策定の背景と目的

(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想の策定

つくば市にふさわしい陸上競技場の整備

スポーツに対するニーズを踏まえ、施設の内容と整備水準、整備上の留意点等を検討した上で、基本的な方向性を示すものとして策定

2 基本方針(陸上競技場の目指すべき方向性)

2-1 整備に向けた基本的な考え方

(1) 基本的役割

市内の小中学校の公式陸上記録会・競技会及び、つくば市陸上選手権大会開催が可能であり、障害者や高齢者等誰もが利用できる施設

- ・ 公式記録が取れる施設整備
- ・ 投てき種目の実施
- ・ SDGsの理念
→障害者、高齢者、子どもたち市民の誰もが、安全・安心に利用できる施設整備

【整備上の配慮事項】

- ・ 将来の人口を見据えた適切な施設整備
- ・ 既存施設の有効活用、コスト低減
- ・ ウォームアップ空間や雨天時にも活用できる空間
- ・ ウォーキングなど日常的な運動空間
- ・ 夜間照明の設置、収益施設の併設、民間ノウハウの活用
- ・ 多様なスポーツプログラムの提供、イベントや教室等の開催

2 基本方針(陸上競技場の目指すべき方向性)

(2) 付随的役割

防災機能を備えた地域活性化拠点

- ・地域の交流拠点
→多世代が気軽に利用できるスペース
- ・災害に備えた施設整備
→広域避難場所、物資輸送の中継地点など

【整備上の配慮事項】

- ・市内のスポーツ施設、体育館、公園等との連携
- ・スポーツに加え、多様な集客イベントが開催可能な環境整備
- ・スポーツリズムへの波及
- ・複数の入口とゆとりのある動線(バリアフリーに配慮)
- ・周辺地域との一体的な景観形成など環境に配慮した空間
- ・科学技術の実証実験の場など「つくばらしさ」の追求

2 基本方針(陸上競技場の目指すべき方向性)

2-2 整備内容と水準

第4種公認(第3種相当整備)

運動施設	陸上競技場	400mトラック(<u>全天候舗装8レーン</u>) インフィールドは天然芝(投てき競技に対応) <u>雨天走路</u> (ウォームアップ空間などの利用)
	観客席	メインスタンド 1,500席 芝生スタンド 2,500席
	管理棟	本部室、放送記録室、審判控室、多目的室、 会議室、控室、トイレ、 <u>更衣室</u> 、 <u>シャワー室</u>
園地	園路広場 休憩空間	ウォームアップ空間 憩いの空間、外周散策路、ジョギングコース
便益施設	防災機能	避難場所として活用 屋外トイレの配置
	夜間照明	夜間照明設備
	駐車場	普通車400~500台分(バス33台分に転用可能)
付帯施設	セミナーハウス等	会議室、研修室、物販施設、地域交流の場 避難所、備蓄倉庫

3 候補地の比較検討

上郷高校跡地と高エネ研南側未利用地を比較

評価項目

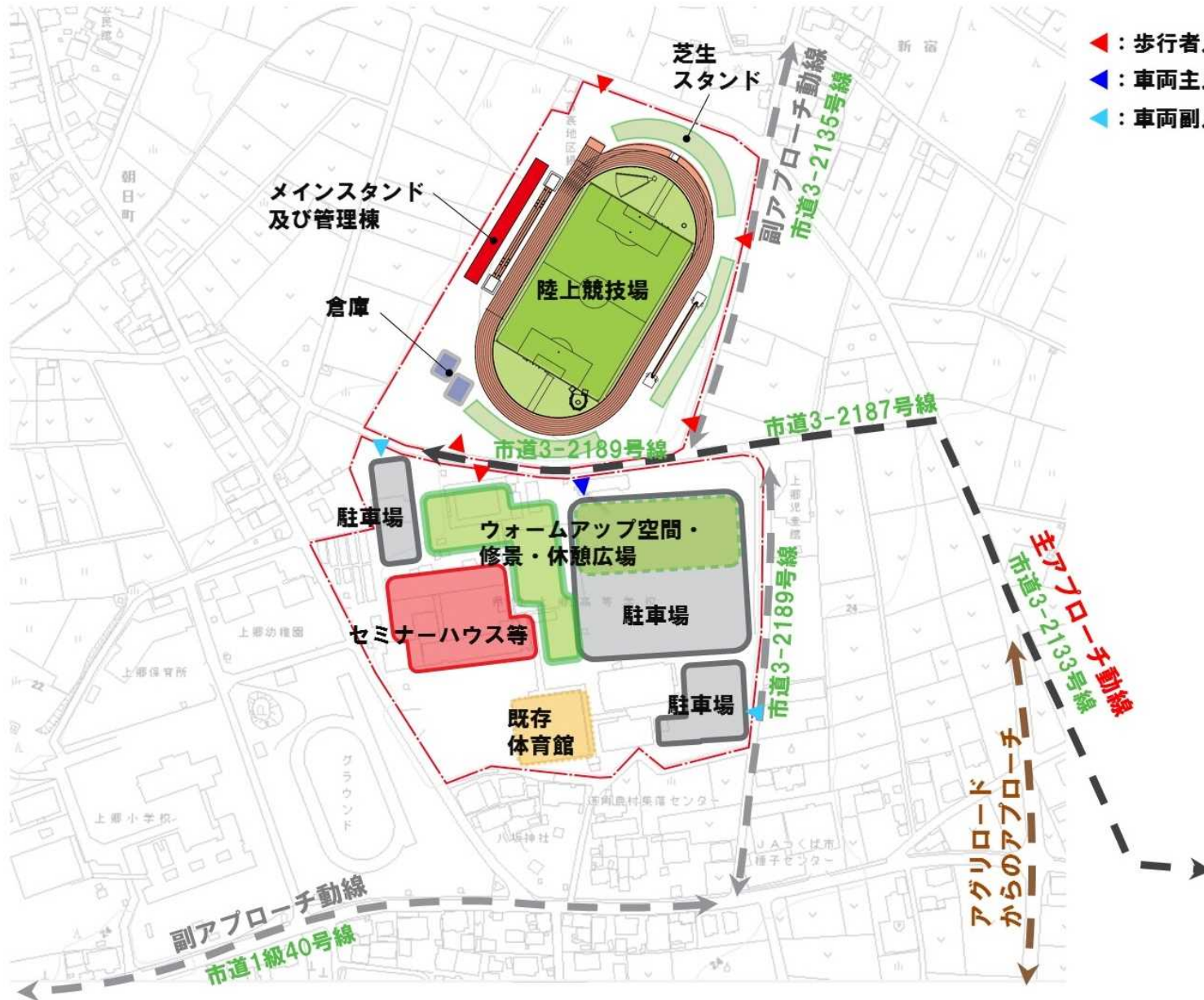
- (1) 基本条件（立地、インフラ、道路）
- (2) コスト（土地取得費用、基盤整備費用、付帯整備費用）
- (3) 事業の進捗速度（基盤整備、施設整備）
- (4) 敷地内及び隣接部の条件（機能の導入や利用のしやすさ）
- (5) 関連施策等との関係（上位計画との整合性、防災計画）
- (6) 環境・景観条件（連携資源とのネットワーク・回遊性）



「コスト」と「進捗速度」の面で優れ、着実に整備をすすめるべきという観点から、上郷高校跡地を整備候補地として採用

4 施設の配置(ゾーニング)

プラン1 南北の現状敷地を活用するプラン



- ▲: 歩行者入口
- ▲: 車両主入口
- ▲: 車両副入口

北側敷地 約3.1ha
南側敷地 約3.9ha
合計 約7.0ha

北側の敷地
400mトラック
倉庫等が配置可能

大規模な造成や施設撤去を伴わずに、主要施設の整備が可能

駐車場
南側敷地に配置
既存道路の拡幅の必要性

4 施設の配置

プラン2 南北敷地を一体化して活用するプラン



- ◀: 歩行者入口
- ▶: 車両主入口
- ◀▶: 車両副入口

敷地中央部を東西に横切る市道を廃止
敷地を一体として整備
※児童館へ通うための動線の確保

北側に駐車場が配置

北側道路をアプローチ道路として活用

恒常風防止
バッファの整備
芝生スタンドと一体の樹林帯を伴う築山

5 概算工事費

項目	内訳	金額（千円）	
		プラン1	プラン2
競技場本体		16億800万円	16億800万円
その他	造成費	1,700万円	1,700万円
	撤去・解体費 (プール、旧体育館等)	1億5,300万円	1億5,300万円
	植栽費	6,000万円	5,500万円
	設備費 (電気、給排水設備等)	9,500万円	9,500万円
	駐車場・園路整備費	1億800万円	1億2,700万円
	案内サイン等整備費	4,000万円	4,000万円
	管理施設整備費 (門扉、柵等)	4,000万円	4,000万円
	便益施設 (屋外トイレ等)	8,000万円	8,000万円
	仮設工事費	2,100万円	2,100万円
	小計	6億1,400万円	6億2,800万円
合計		22億2,200万円	22億3,600万円

詳細な工事費は
基本計画策定以降

セミナーハウスの
整備費、校舎や体
育館の解体費、道
路の拡幅に係る費
用は未計上

6 管理運営の方向性

(1) 陸上競技場の管理・運営の一体的取組みの推進

- ・市民ニーズに対応したサービスを提供する
→民間事業者が有するノウハウの活用を検討
- ・コスト縮減及び財源確保
→民間資金やP P Pなどの手法の導入を検討

(2) フォローアップの実施方針

- ・維持管理等のP D C Aサイクル
→具体的な評価方法及び評価の反映方法を検討

(3) S D G s への対応(ユニバーサルデザインの推進)

- ・将来の管理運営：S D G s の基本理念
→障害者、高齢者、子どもたちなど誰もが、安全・安心に利用できる施設
→計画・設計の段階から多様な利用者を想定し、有識者へのヒアリングを実施
- ・情報を含めたアクセシビリティの充実を図るとともに、完成後も市民が利用しやすいよう継続的な改善を実施

7 整備スケジュールの想定

R 3年度	基本構想の策定 (4月) 市民説明会の開催 (6月) 大規模事業評価 (7～11月) 市の方針を決定 (12月)
R 4年度	基本計画の策定
R 5年度	基本設計・実施設計
R 6年度～7年度	工事施工(2年間)
R 8年度	供用開始

※スケジュールは今後の検討状況によっては変更となる可能性あり

ご清聴ありがとうございました。